

財団法人 堀江オルゴール博物館

秋の庭園特別公開

平成24年11月1日(木)～12月9日(日)

木曜～日曜・祝日

館内のオルゴールの演奏時間

● 10:30

● 13:00

● 15:00

(所要時間 50分)

自動バイオリンの展示解説

自動バイオリンの仕組みについて

毎日曜日午後2時から

展示室1階にて(約30分)



Hupfeld phonoliszt Violina
フツフェルト・フォノリスト・ヴィオリーナ
Hupfeld フツフェルト社 1910年 ドイツ

財団法人 堀江オルゴール博物館

〒662-0088

兵庫県西宮市苦楽園四番町 7-1

TEL 0798-70-0656

FAX 0798-72-0110

www.orgel-horie.or.jp

info@orgel-horie.or.jp

■主催

(財)堀江オルゴール博物館

■後援

西宮市

西宮観光協会



六甲苦楽園案内図
橋爪紳也;京阪神モダン生活より

苦楽園四番町と堀江オルゴール博物館

堀江オルゴール博物館のある苦楽園四番町は、今から100年ほど前の明治44年に中村伊三郎氏が、この一帯30万坪程を購入して苦楽園の名称で町づくりをした所の一角です。その頃、天狗嶽でラジウム温泉が発見され、苦楽園四番町の三笑橋まで温泉を引き、共同浴場苦楽園温泉が開かれました。それにもなって、幾つかの旅館が温泉のまわりに建てられました。関東大震災の後、谷崎潤一郎は阪神に逃避し、旅館 萬象館に滞在しました。当時の様子は「阪神見聞録」という随筆に書かれています。苦楽園四番町には、黒田子爵の別邸 土方伯爵の別荘 養寿庵 下村海南の海南荘、クラブ化粧品の中山太一の太陽閣がありました。現在ではこれらの建物は残っていません。戦後、太陽閣の跡地は堀江光男が購入し、別邸として使用されてきましたが、平成9年に堀江光男は所蔵のオルゴール等400点と土地建物、基本金を寄付して財団法人堀江オルゴール博物館を設立しました。堀江オルゴール博物館の庭園は、大正11年に中山太一氏が太陽閣の庭園を築くにあたって七代目小川治兵衛に作庭を依頼し、400年前の大坂城再築時の苦楽園採石場の残石を使って造園されています。庭園には若狭小浜藩の刻印石や石矢が多く見られます。庭の樹木には小川治兵衛が好んだハゼの木、どうだんつつじ、いろはもみじなどが植えられ、春秋の季節には彩り鮮やかに楽しませてくれます。



旧堀江別邸とその正門



- ★ 徳川大坂城石切跡地の若狭小浜藩刻印石
- ★ 400年前の石切り丁場の矢穴石群
- ★ 「水と石の魔術師」七代目小川治兵衛 刻印石下の滝
- ★ 七代目小川治兵衛作庭 三日月窓の寄せ灯籠

入館料	一般 900円	4才~中学生 450円
	団体割引 20名以上	700円
開館日	木曜~日曜、祝日	
	*但し団体の方は火曜、水曜も開館	
開館時間	午前10時~午後5時	
休館日	月曜日(但し祝日は開館)	
	*火曜日 水曜日は団体受付のみ(要事前予約)	
交通	JR芦屋駅または阪急夙川からタクシーで10分または 阪急バス「苦楽園」下車徒歩10分 駐車場完備	

お問い合わせ 堀江オルゴール博物館



〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園四番町7-1
www.orgel-horie.or.jp info@orgel-horie.or.jp
 TEL 0798-70-0656 FAX 0798-72-0110